

政治の世界全体が土石流のように
下る一方となりました。本来ならば
政權が過をおこさないように、軌道を
修正すべき野党も一緒になって
政治の劣化を加速させています。
官僚も不祥事が多くなる
ばかりとなり、国民の期待に反する
行為が尽きなくなりました。

これは政官の劣化ではなくて、人間の
資質の低下に歯止めがかからない
ことから起きている結果です。

人間には、国家社会を良くし
人に尽くしたいという「公欲」と
自分の利権を貪り、自分の小さな
幸せを求める「私欲」との二つの
欲があります。

「公欲と私欲」の総和は誰でも
一緒です。従って

公欲の大きい人は私欲が小さく、
反対に公欲が小さいか、無い人は
私欲ばかり大きくなります。

公欲の大きい人は智恵が湧き、
出てきて勇氣もあり、困難なこと
にも積極的に取り組んでいきます。
昔から大事を為した人は、智恵も
勇氣もあつた人ばかりです。
私欲の大きい人は、自分の好都合
だけを考えて、小さな幸せを
求めるので、愚智恵しか出ず
勇氣もない、卑怯な人になります。
理性のみ求めて感性を備えて
いない人にもなります。

政・官界の人に、一般から見ると
卑怯な振舞いをする人が多しは
元々「公欲」が無く「私欲」の
固りのような人だからでしょう。
公僕とは名ばかりで、私欲を
剥き出しにして、ような人達に
国政をゆだねた有権者も
私欲で選んだのですから、これは
ブレイラン現象でもあります。
元から改める必要がありません。
どうしてこんな人を選んだのでしょうか。

鍵山秀三郎様